

編集後記

2019年度も利用者並びに関係各位のご尽力により、なんとか無事に年度を終えることができました。国の財政圧縮の折、今年度は大学自助努力により新規機器の導入が叶い、利用者の皆様の研究がより進むことを期待して止みません。今後も既存機器の更新と総合メンテナンスを計画的に実行し、利用者の皆さまの教育・研究活動を引き続きサポートしていく所存です。

2019年を振り返りますと、10月には消費税が10%となり、公私ともに支出額の増加が重くのしかかり頭が痛いところです。一方で、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表の活躍は多くの人々の記憶に新しいところかと思えます。センターも新しいメンバーを迎え、心新たに「ワンチーム」で支援業務の充実に心がけます。

末筆となり大変恐縮ですが、本号でも多くの方々に、快く依頼に応じご寄稿いただきました。深くお礼申し上げますとともに、ますますのご健康とご発展をお祈りします。また、本機関誌発刊に当たり、レイアウト・編集作業、さらに印刷業者との連絡などは、新美智久技師および藤本真由技術補佐員に引き受けていただきました。深く感謝いたします。

(文責 機関誌編集委員長)

CACS FORUM

埼玉大学研究機構 科学分析支援センター機関誌

No. 11 2020. 12

発行者 埼玉大学研究機構 科学分析支援センター
さいたま市桜区下大久保 255
URL <http://www.mlsrc.saitama-u.ac.jp/>
TEL 048(858)3670 (ダイヤルイン)
FAX 048(858)3707